

学生の皆さんのための Q&A

本学は、国の緊急事態宣言が出された状況のもとで、学生の皆さんの安全を極力確保しながら、たとえ災害時にあっても、期日内での1学年度の学修内容の提供は免責されないという社会的責任の自覚のもと、「非対面授業」を行う決断を致しました。非対面授業をする理由は、皆さんが大学内の密集空間に通学する危険を冒すことなく、できる限り高い水準の教育を受けていただくためです。非対面授業とは、オンライン授業よりも広い意味を持っていて、最新テクノロジーを利用するということをも必ずしも意味しない、一種の遠隔・通信教育といえます。この非対面方式では、課題提出方式をとる授業であっても、LINE や Zoom などの新しいメディアを利用する「オンライン授業」の要素を含みます。したがって、いろいろな授業の形態を想定しています。

本学では、非対面授業をより便利に進めるために、Glexa という新しい学修システムを採用しました。このような新しい設備とともに、今までのメールやスマートフォンなどを利用した授業に加えて、新たな授業のカタチを実行していきます。

このやり方では、授業によっては時間割通りに行い、今までと似たような評価基準で授業を行うものもありますが、授業の性質によっては「小テスト」の積み重ねや「課題」を提出することで、成績評価を行い単位を認定することになります。このような授業では、自分のペースで勉強を進め、わからないことがあれば先生に質問することも可能です。

以上のような授業形態の変更に伴って、皆さんの学修・生活のあり方も大いに変わることは間違いありません。わからないことだらけで不安を感じていることと思います。

以下には、皆さんからフォームを通じて寄せられた質問を項目ごとにまとめ、現在答えられる範囲で回答を用意いたしました。少しでも不安解消の助けになれば幸いです。

昨今の状況は非常に厳しいものですが、これをバネにして、新たな勉強の手法をみんなで作りあげられるよう、大学としても精一杯サポートしますので、ご協力をお願い致します。

5月7日

藤女子大学 危機対策本部

1. 授業に関すること

Q1: 授業が時間割通りの時間に開かれない場合は、時間割の該当時間に外出してもよいのですか？

A1: あなたの履修している講義がオンタイムで行われていなければ、自由に時間を使って構いません。ただ、課題制作などの時間は自分で管理し、期日までに決まった方法で提出しなければなりません。感染症予防のために不要不急の外出はしないようお願いいたします。

Q2: 目が疲れやすくパソコンやスマホの画面を長時間見てられません。何か配慮をしてもらえますか？

A2: 担当の教員に個人的な状況について相談して下さい。連絡が取りにくい場合は教務課に状況を伝えてください。教務課から当該の先生に配慮のお願いをします。

Q3: 部屋を見られたくないのでカメラを使わなくてもいいですか？

A3: カメラは常にオンでなくても良いです。ただ、授業によっては、コミュニケーションを図るためにビデオチャットが行われる場合があります。その際は、できるだけ表情を映しながら参加することをオススメいたします。なお、Zoomにはバーチャル背景の設定ができる機能もありますので、ご利用ください。個人的な事情がある場合には、担当教員にご相談ください。

Q4: 卒論の締切りに変更はありますか。

A4: 卒論の提出締切りは12月26日(土)正午に変更されました。また、卒論本題目提出の締切りも10月9日(金)に変更されました。

Q5: 卒業演習も非対面授業に含まれますか。

A5: 含まれます。

Q6: 授業とはまた別に、前年度に引き続きご好意で教員の方が勉強会を開いて下さるお話がありました。大学で学ぶ分野や将来にも大きく生きる内容です。こちらのほうもオンラインで受けられるようにしていただけないでしょうか。

A6: まずは、勉強会のご担当の先生にご相談ください。

Q7: 履修登録をせずに聴講での参加を予定していた授業があるのですが、非対面授業でも聴講は可能でしょうか？

A7: 非対面授業では、履修登録者名簿に記載された方のみに授業の案内や資料の配信が行われます。

Q8: 大学には行かず、ずっと家にいていいんですか？

A8: ネット環境等、特に問題なく受講できている限り、原則として自宅で受講していただくことになります。

Q9: 実家にいます。札幌に帰るべきですか？

A9: そのまま地元にてください。教科書はネット販売となりましたので、札幌に戻って教科書を購入する必要はありません。

Q10: 実家のほうが通信環境が良いので実家に帰っていいですか？

A10: ご家族で相談の上、良い学修環境を求めるということであれば、実家に留まることで問題ありません。いずれにしても学修に適した環境を構築していただければ幸いです。

Q11: オンライン授業になるということですが、今住んでいる家ではWiFiなどのネット環境がありません。大学に行ってオンライン授業を受けたいのですが、可能ですか？

A11: 特例として、自宅にWi-Fi環境が整っていない場合、3密防止に細心の注意を払った上で、大学の施設を利用することは認められています。その際には、学内のパソコン室のPCや、図書館・アイランズのタブレットPCなども利用することができます。また、ご自分のPCを持ち込んで、大学のWi-Fi環境を利用して授業を受けるのでも構いません。

Q12: 人間生活学部の学生ですが、北16条校舎のコンピュータ室を使って授業を受けても良いでしょうか？（その逆のケースも）

A12: 特例に該当する場合、いずれのキャンパスでも、ご自分のお住いに近い方を利用できます。

Q13: コンピュータ室のパソコンを借りて授業を受けたいと思っていますが、同じような人がパソコン室に押しかけると、結局人が密集することになってしまうのではないのでしょうか？

A13: パソコン教室のパソコンを一般の教室に移し、通常の半分程度の台数にして分散化を図っています。その他に、移動可能なノートパソコンや図書館・アイランズのタブレットPCなどを貸し出し、校舎内の各場所で分散して利用できるように準備を進めています。

Q14: 就職活動の面接などと同時に授業が行われる場合、公欠などの対応がされるのか、後で録画での視聴をできる処置がありますか？

A14: 従来の対面授業においても、就職活動は公欠扱いになりません。非対面授業でも、非同期型授業の場合は、決められた期間の中で課題等を提出することで出席となります。どの授業形態となるかは担当の先生からの連絡を参照してください。いずれにしても、欠席した授業については、補習資料等により、内容を補っておくことをお勧めします。

Q15: 回線等のトラブルで同期型の授業が受講できなかった場合でも、欠席の扱いとなりますか？

A15: トラブル等で受信できなかった場合は、担当の先生にメール等で知らせて補修用の課題を受け取って期日までに提出してください。それによって出席の扱いとなります。

Q16: 成績はどう決まるんですか？

A16: 非対面授業では、対面の授業とは違った評価方法になる場合があります。担当の先生からも周知されると思いますが、今後、修正版のシラバスも公開されますので、そちらをご確認下さい。

Q17: 確認ですが非対面授業は前期1回から15回まで全て非対面授業なのでしょうか？

A17: 原則、すべて非対面授業となります。

Q18: 非対面授業では、試験はどのような形で行われますか？

A18: 非対面ですので、対面授業の場合のような、多数の受験者が一つの教室に集まって一斉に受験する形での試験は実施しません。オンラインによるテストが行われる可能性があります。

Q19: 資格に関する科目や必修の実習科目は火曜、水曜、木曜、土曜にばらついており、もしそれら全てを学内でやるのであれば、過半数以上の日登校しなければならないため、どうか登校回数を少なくしていただくことはできないのでしょうか？

A19: 国による緊急事態宣言の期間は非対面（オンライン）授業です。宣言が解除された場合は、対面授業に移行します。

Q20: 今年、病院実習に行く予定なのですが、予定通り実施されるかどうか不安です。

A20: 国や道の感染症対策や当該病院の状況に応じて、大学の学外実習配属の延期・中止基準により学科で判断することになっています。

Q21: 病院実習がある場合、感染が怖いです。

A21: 上のQ&Aを参照してください。また、実習が行われる場合は学科及び実習先で感染防止対策を徹底します。

Q22: 今、地元に戻省しているのですが、この状況で札幌に戻るのはとても危険なことであり、大学生の移動がコロナの感染を広めると思います。実習指導も、オンラインでは出来ないのでしょうか。

A22: 国による緊急事態宣言の期間は非対面（オンライン）授業です。宣言が解除された場合は、対面授業に移行します。

Q23: ピアノレッスンの非対面授業についてなのですが、自宅で音を出してそれを聞いてもらう形でしょうか？

A23: ピアノレッスンの非対面授業についてですが、自宅で音を出してそれを聞いてもらう形です。実際には、ピアノを弾いているところを録画してもらい、それを各ピアノ担当教員にGoogleドライブにて共有し、教員にチェックしてもらい、という形になります。いただきました質問から推察しますと、音が出しにくい環境ではないかと思えます。以下、対応策です。

- ・ピアノ、電子ピアノ、キーボードなどで音量を小さめで演奏を録画する際、録音の音量レベルを上げておく。
- ・ピアノ、電子ピアノ、キーボードなどで音量を小さめで演奏を録画し、動画編集アプリなどを用いて、音量を上げる。
- ・電子ピアノ、キーボードなどの場合、音声をライン入力で録音し、動画編集アプリなどを用いて、音を追加する。
- ・大学の練習室にて、演奏を録画する。

小さな音量で実際に録画してみて、聞こえるかどうかを確かめてみると良いかと思えます。

Q24: 実験はオンラインではできないのでしょうか。

A24: ガイダンスとかプレゼンテーションなど非対面で行う時間もありますが、実験そのものはオンラインではできません。

Q25: 書道などの実習科目も他大学ではオンラインとしているところも多いのですが、本校では対面で行うのでしょうか？

A25: 国の緊急事態宣言が継続される限りは、例外の対面式授業は実施されません。どうしても非対面方式に対応できない授業はその期間は休講となります。

Q26: オンライン授業中心になっても、資格や免許に支障はありませんか？

A26: 大学としては支障が起こらないよう対応を考えています。詳しくは、それぞれの免許・資格の課程を設けている学科や課程の先生にお尋ねください。

Q27: レジюмеや資料を利用する授業を履修しているのですが、自宅でプリントできるようなファイルなどを事前送信してくれるような配慮はできるのでしょうか？

A27: レジюмеや資料は授業開始までに LMS や F-Station、メールなどによって配信されることになっています。配布の方法に関しては、それぞれの担当の先生から連絡が行きます。

Q28: 後期は普通の授業ですか？

A28: 通常の授業形態に戻ることが望まれますが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、非対面授業が継続される可能性もあります。

2. パソコンや機器に関すること

Q29: 家にパソコンがありません。Wi-Fiがあれば、スマホで授業が受けられますか？

A29: できるだけパソコンを購入されることをお願いいたします。スマートフォンでの受講は可能ではありますが、画面が小さく、文字入力などで大変ストレスがたまるので、パソコンがある学習環境のほうが良いと考えます。

Q30: パソコンとタブレットどちらを買った方がいいですか？

A30: レポートや論文の作成を考えると、できれば、パソコンを選んでいただきたいと思えます。ただ、授業を受けるという点だけを見るとタブレットでも対応可能です。

Q31: パソコンを買うなら Office が入っているものにするべきですか？また、パソコンに Office が入っていない場合、購入した方が良いですか？

A31: そうですね。Office が入ったパソコンがあれば、いろいろな用途に使えらると思えます(QA39 参照)。ただ、本学で利用されている Google にもドキュメント、スプレッド

シート、スライドなどの Office と互換性の高いソフトが用意されています。

Q32: 使用機器が office ライセンス付きかどうかの調べ方とアンチウイルスソフトのインストール方法が知りたいです。

A32: office ライセンス認証の確認については、次のサイト（NEC の製品サポートページ）の情報などが参考になるでしょう。

<https://l2lware.com/qasearch/1007/app/servlet/qadoc?QID=016411> アンチウイルスソフトについては、インストール方法は製品によって異なりますので、製品に付属のマニュアルをよく読んでそれに従ってください（としか言えません）。

Q33: 実家に帰れば PC もネット環境もありますが、プリンタがありません。実家の近くにコンビニがありません。

A33: 授業によっては資料を印刷するように求められることがあります。通信環境などの受講条件がそろわない場合は、特例として大学での受講が認められています。大学に来られず、近隣に印刷の施設も無い場合には、プリンタをご購入されることを検討願います。印刷を求められた場合は、担当の先生にも相談してみてください。

Q34: 私のパソコンはカメラ・マイクが付いていなくて、推奨スペックも満たしていません。大丈夫でしょうか。

A34: カメラ・マイクは外付けでも可です。ゼミなどの双方向で画面共有をするような科目ではカメラを用意する必要がありますが、講義型の科目では必ずしも必要とされない場合もありますので、科目の担当の先生に確認してみてください。

パソコンの推奨スペックに関しては、確実に支障なく受講できることを想定した数値であり、それを満たしていないと受講できないわけではありません。まず今所有している PC を利用して受講してみてください。支障をきたすようであれば、購入を検討してください。

Q35: 自宅、又はアパートの Wi-Fi の設備が不十分です。

A35: できましたら、6 月の月上旬までに Wi-Fi 環境を整えていただくよう、お願い致します。どうしても整わず、大学での受講を希望される方は、大学 Wi-Fi 環境を利用することも可能です。

Q36: ギガが足りません。

A36: 5 月までは、主要携帯会社が 50GB まで無料で提供するサービスがあります。当面は、こちらを利用し、できるだけ早い機会に Wi-Fi 環境を整えていただくようお願い致します。

Q37: オンライン授業は不安でいっぱいです。

A37: 教員と大学でできるだけのサポートをお約束致します。コロナの問題が収束した後も、コンピュータを利用したオンラインコミュニケーションのスキルは、社会人の必須スキ

ルになる可能性が高くなると考えられますので、この際にみんなでオンラインに習熟しましょう。今まで縁遠かった先生たちも頑張ってお習得に努めています。

Q38: Wi-Fi の速度が遅く、授業をきちんと受けられるかわからないのですが、環境が揃っていない学生に向けて、無線 LAN ルーターの貸し出しなどは出来ないのでしょうか。

A38: 本学で保有している機器の数量では対応が難しいと思われまます。ご自分で用意するか、もしくは大学の Wi-Fi を利用してください。

Q39: 使用するソフトやアプリを教えてください。

A39: 以下のソフト・アプリを主に利用しますが、これ以外にも教員から指示がある場合があります。

Glexa: 5月より授業支援システム「Glexa」を導入します。これは Chrome や Safari などのブラウザ上で小テストやレポート提出、授業資料の受け取りなどが出来るシステムです。PCであればブラウザが使用出来れば問題ありません。スマートフォンであればアプリもありますが、現状ブラウザでの利用を推奨します。

Zoom: 利用する授業もありますが、セキュリティ上の問題も指摘されています。指示されてから、インストールしてください。

Office: 使用する可能性があります。Office365 Education というバージョンなら、本学メールアドレスで学生としてサインアップすると無料で利用できます。(若干機能制限ありの Office) <https://www.microsoft.com/ja-jp/education/products/office>
将来仕事でも役立つので、使い慣れておくことをお勧めします。

3. 図書館に関すること

Q40: レポート・卒論を書かないといけないのですが、実家に帰ったので図書館に行けません。どうしたらいいですか？

A40: 図書の遠隔貸し出し等についても検討中です。詳細は今後、案内いたします。

Q41: 図書館のジャパンレッジは家からでも使用できるのですか？

A41: ゼミ単位などで教員から申請があった場合には、該当する学生に対して、通常は学内専用になっている電子ジャーナル・データベースに学外からアクセスするためのアカウントを期間限定で支給することを検討中です。詳細は今後、案内いたします。

4. 実習費、課程費に関すること

Q42: 図書館情報学課程を履修するのですが、課程費5万円は大学に払いに行かなければな

りませんか。

A42: 実験・実習費、課程履修費の納付については、6月以降に銀行振り込みにて受け付け予定です。振り込み方法等については、後日ご連絡いたします。未納の場合、最後まで受講しても単位が修得できませんので、ご注意ください。

Q43: 書類にハンコをもらうために大学に行かないといけませんか？

A43: 郵送対応ができるものは郵送で受け付けます。送る前に提出部署に連絡してください。

5. 学生生活に関すること

Q44: 花川キャンパスまでの大学専用バスの運行はありますか。

A44: 原則登校禁止なので専用バスの運行はありません。路線バスの運行状況についてはバス会社のHP等で確認してください。

Q45: 花川キャンパスへの自動車通学の緩和があることをガイダンスで聞きましたが、いつから、どのような場合に適用されますか？

A45: 学生生活ハンドブックの pp.153～154 に自動車通学の申請条件が示されていますのでご覧ください。なお「長期許可」の申請受付は、対面授業が主な授業方法になるまで行いません。「臨時許可」の申請受付については現在検討中です。方向性が決まったら、ポータルなどを通して連絡します。

Q46: 緊急事態宣言を受けてアルバイト先が休業になり、アルバイト収入が減少し、生活が苦しいです。状況を改善する手だてはありますか。

A46: 奨学金制度を利用する方法もありますので検討してください。

Q47: 家庭の経済状況が悪化し、学費納入について心配しています。

A47: 授業料の延納願いを提出することができます。財務課に相談してください。奨学金の情報にも注意しておいてください。

Q48: 授業料はそのままなのでしょうか？

A48: 非対面授業であっても、本学の教育の質は維持しながら提供させていただく所存です。学費については、こうした教育研究活動や環境の整備・維持、管理のために頂戴しており、教職員は、学生の皆さんの学位授与までの教育をサポートさせていただきますので、どうぞご理解ください。

Q49: 他大学でも検討されているような通信環境を整えるための現金の給付措置などは行われませんか？

A49: 本学でも、5月3日付で大学HPに掲載された通り「学修環境整備奨学金」の給付を

決定しました。具体的な給付手続等については、追ってポータルサイトでお知らせいたします。

Q50: コロナウイルスに感染した疑いがあるなど、体調不良になった場合、どこに相談すれば良いですか？

A50: 保健センターに相談してください。

Q51: 学生相談室は利用できますか？ひとり暮らしで家族や友達とも会うことができず、精神的に辛いです。どこに相談すればよいでしょうか？

A51: ひとり暮らしでは、色々と心配なこともあるかと思いますが、学生相談室は現在、来室しての利用はできない状況です。電話での相談となりますが、保健センターに相談してください。その他、担任の先生や学科の先生方も相談にのってくれると思います。

Q52: 実家に帰るのですが、当分学校にいかないなら一人暮らしの部屋は解約してもいいですか？

A52: 特例の対面式授業を選択している場合は、国の緊急事態宣言が解除される等の状況の改善があれば授業が開始されるため、登校の必要が生じますが、該当する科目を選択していない場合は、基本的に前期中は登校の必要はありませんので、解約しても大丈夫かと思えます。

Q53: 就職できるかどうか不安です。就職の相談はできますか？面接練習などもしてもらえるのでしょうか？

A53: キャリア支援課による就職活動のサポート体制は、引き続き窓口対応を中止しています。相談及び書類添削については、電話・メールにて対応しております。詳しくはF-N-A-V-Iの情報を確認してください。オンラインによる模擬面接の対応なども検討中です。

Q54: 食堂や購買は営業しますか？

A54: 当面の間、両キャンパスの学生食堂及び購買は休業いたします。

Q55: クラブ活動はいつ解禁になりますか？SNSを利用したクラブ活動への新入生勧誘なども禁止でしょうか？

A55: 学内外でのクラブ・サークルを含む集団活動については、学生の健康と安全を最優先とした感染予防の観点から、当面の間、原則禁止とします。

Q56: ボランティア活動は続けても良いですか？

A56: 集団活動や対面を伴う活動については控えてください。